

令和3年度初任者研修「高等学校教科教育4」講座（北部）について

※教科をクリックすると、該当教科の実施要項を見ることができます。

講座番号161

初任者研修「高等学校教科教育4」講座（北部）

理科

保健体育科

芸術科書道

家庭科

講座番号	161	体系区分	基本研修	主催	京都府総合教育センター
令和3年度 初任者研修「高等学校教科教育4」講座（北部） ー理科ー 実施要項					
講座のねらい	個に応じた指導と評価の工夫等、授業改善の具体的な方策を学び、教科指導力の向上を図る。				
京都府教員等の資質能力の向上に関する指標との対応	ステージ1 初任期（1年～6年） 観点：学習指導 ・学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ・教科・科目に関する高い専門性を有し、各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。 ・学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。				
受講対象	理科担当初任者研修対象教諭（高等学校）				
受講者数	※該当者は全員受講すること。 12名				
日時	令和3年10月14日（木） 13:00～17:00				
会場	各所属校においてオンライン受講				
13:00	講義題等		内 容		
14:00	講 義 ・ 研究協議Ⅰ	授業を改善するための工夫	・単元指導計画や各時間の授業構成について理解し、授業を改善するための具体的な方策について学ぶ。 京都府総合教育センター 研究主事兼指導主事 塩見文浩		
14:10	演 習 ・ 研究協議Ⅱ	個に応じた指導と評価	・模擬授業や研究協議により、個に応じた指導と評価の工夫、指導と評価の一体化について学ぶ。 京都府総合教育センター 研究主事兼指導主事 塩見文浩		
17:00					
そ の 他	<受講方法> 講座実施日の1週間前を目処に電子メールにてお知らせします。 <受講報告> 受講終了後、「研修講座の受講報告」を作成し、管理職が取りまとめの上、PDF形式にて提出期限までに電子メールで提出してください。 提出期限：令和3年10月15日（金） 提出先等：地域教育支援部（ed-center-chiiki@kyoto-be.ne.jp） 件名は「講座番号 学校名 氏名」（例：161 府立〇〇高 京都 千太）としてください。 <準備物> 「学校の教育力の向上を目指してー教職の手引きー」 「高等学校学習指導要領解説（理科編）」（平成21年） 「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（理科編）」 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（高等学校編理科）（国立教育政策研究所）ダウンロードしたもの その他、教科担当から指示されたもの ・担当部……地域教育支援部 TEL：0773-43-2934				

講座番号	161	体系区分	基本研修	主催	京都府総合教育センター
令和3年度 初任者研修「高等学校教科教育4」講座（北部） ー保健体育科ー 実施要項					
講座のねらい	最新の医科学トレーニングに関する講義や実技を通して、教科指導力の向上を図る。 言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。				
京都府教員等の資質能力の向上に関する指標との対応	ステージ1 初任期（1年～6年） 観点：学習指導 ・学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ・教科・科目に関する高い専門性を有し、各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。				
受講対象 受講者数	保健体育科担当初任者研修対象教諭（高等学校） ※該当者は全員受講すること。 12名				
日時	令和3年10月14日（木） 13:00～17:00				
会場	各所属校においてオンライン受講				
13:00	講義題等		内 容		
	講義 I	最新の医科学トレーニング理論を学ぶ	・健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための最新の医科学トレーニングの理論や具体的な指導方法を学ぶ。		
14:00		京都トレーニングセンター 京都府教育庁指導部保健体育課	センター長 指導主事	馬 渕 博 行 谷 口 直 子	
14:10	講義 II ・ 演 習	教科における学習指導の工夫	・言語活動の充実、主体的な学習を促す指導の工夫等、授業力向上の方策について理解を深める。		
17:00		京都府教育庁指導部保健体育課	指導主事	谷 口 直 子	
そ の 他	<受講方法> 講座実施日の1週間前を目処に電子メールにてお知らせします。 <受講報告> 受講終了後、「研修講座の受講報告」を作成し、管理職が取りまとめの上、PDF形式にて提出期限までに電子メールで提出してください。 提出期限：令和3年10月15日（金） 提出先等：地域教育支援部（ed-center-chiiki@kyoto-be.ne.jp） 件名は「講座番号 学校名 氏名」（例：161 府立〇〇高 京都 千太）としてください。 <準備物> 「学校の教育力の向上を目指して-教職の手引き-」 「高等学校学習指導要領解説（保健体育編）」（平成22年） 「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（保健体育編）」 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（高等学校編 保健体育）（国立教育政策研究所）ダウンロードしたもの ・担当部……地域教育支援部 TEL：0773-43-2934				

講座番号	161	体系区分	基本研修	主催	京都府総合教育センター
令和3年度 初任者研修「高等学校教科教育4」講座（北部） ー芸術科書道ー 実施要項					
講座のねらい	個に応じた指導と評価の工夫等、授業改善の具体的な方策を学び、教科指導力の向上を図る。				
京都府教員等の資質能力の向上に関する指標との対応	ステージ1 初任期（1年～6年） 観点：学習指導 ・学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ・教科・科目に関する高い専門性を有し、各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。 ・学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。				
受講対象 受講者数	芸術科書道担当初任者研修対象教諭（高等学校） ※該当者は全員受講すること。 2名				
日 時	令和3年10月14日（木） 13:00～17:00				
会 場	京都府総合教育センター北部研修所				
13:00	講義題等		内 容		
	講 義	授業を改善するための工夫	・単元指導計画や各時間の授業構成について理解し、授業を改善するための具体的な方策について学ぶ。		
14:00	研究協議 I	京都府立南丹高等学校	副校長	井 木 佐 妃 子	
14:10	演 習	個に応じた指導と評価	・模擬授業や研究協議により、個に応じた指導と評価の工夫、指導と評価の一体化について学ぶ。		
17:00	研究協議 II	京都府立南丹高等学校	副校長	井 木 佐 妃 子	
そ の 他	・携行品…… 「学校の教育力の向上を目指してー教職の手引きー」 「高等学校学習指導要領解説（芸術（書道）編）」（平成21・22年） 「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（芸術（書道）編）」 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（高等学校編 芸術（書道））（国立教育政策研究所）ダウンロードしたもの その他、教科担当から指示されたもの ・担当部…… 地域教育支援部 TEL：0773-43-2934				

講座番号	161	体系区分	基本研修	主催	京都府総合教育センター
令和3年度 初任者研修「高等学校教科教育4」講座（北部） ー家庭科ー 実施要項					
講座のねらい	言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。 授業参観等を通して具体的な指導や評価の在り方について考え、研究協議によって教科指導力の向上を図る。				
京都府教員等の資質能力の向上に関する指標との対応	ステージ1 初任期（1年～6年） 観点：学習指導 ・学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ・教科・科目に関する高い専門性を有し、各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。				
受講対象 受講者数	家庭科担当初任者研修対象教諭（高等学校） ※該当者は全員受講すること。 2名				
日時	令和3年10月14日（木） 13:00～17:00				
会場	京都府立南陽高等学校				
13:00	講義題等		内 容		
	講 義 ・ 研究協議Ⅰ	教科における学習指導の工夫 授業参観の意義と視点	・言語活動の充実、主体的な学習を促す指導の工夫等、授業力向上の方策について理解を深める。 ・授業参観の視点や授業分析の基礎について理解する。		
14:10		京都府総合教育センター	研究主事兼指導主事	内 田 恵 理	
14:25	授 業 参 観	公開授業	・授業参観を通して、効果的で実践的な授業展開を習得する。		
15:15		京都府立南陽高等学校	教 諭	松 田 真由美	
15:30	研究協議Ⅱ	授業改善の視点 単元構想の工夫と授業実践	・授業参観を振り返り、授業改善の方策について協議する。 ・研究協議を通して自己の授業実践を振り返り、単元構想に基づく効果的な教科指導の在り方について理解を深める。		
17:00		京都府立南陽高等学校 京都府総合教育センター	教 諭 研究主事兼指導主事	松 田 真由美 内 田 恵 理	
そ の 他	・携行品……「学校の教育力の向上を目指してー教職の手引きー」 「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 家庭編」 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（家庭科） （国立教育政策研究所）ダウンロードしたもの 上履き（校内履き） タブレット型端末 ・担当部……地域教育支援部 TEL 0773-43-2934				